



伊丹市立幼児教育センター通信

ときめき ひらめき

Vol 21 (令和6年10月)
発行:伊丹市立幼児教育センター
住所:伊丹市千僧1-1
電話:072-780-2488
アドレス:youji-ed@city.itami.lg.jp

★今後の幼児教育のあり方 有識者検討会の最終報告案が出ました

今年1月文部科学省において設置された「今後の幼児教育の教育課程、指導、評価等の在り方に関する有識者検討会」が、全12回(第5回、伊丹市も発表しました。発表資料はセンターHP、文科小HPにて公開中)を終え、9月に「最終報告案」が取りまとめられました。その概要を一部抜粋し紹介します。

1 社会と共有したい幼児教育の基本的な考え方

- ・**幼児教育の重要性**全ての幼児に格差なく質の高い幼児教育を保障し、生きる力の基礎を育み、それぞれが人生においてウェルビーイングの向上を実現していくことができるようにすることが必要。
- ・**幼児期の発達の特性**幼児期は活動意欲が高まる時期。直接的・具体的な体験をし、自分にとって大切なことを学び、身に付けていく。
- ・**幼児教育の基本**幼児期においては、遊びを通しての指導を中心的に行うことが重要。 等

2 現在の3法令に基づく教育活動の成果と課題

- ・**自発的な活動としての遊び**は、幼児期特有の学習。一方、一部の幼児教育施設においては、文字や数量の機械的暗記や一方的指導など幼児の発達にふさわしくない教育活動が行われているとの指摘。
- ・幼児期は、遊びを通して楽しいと感じる多様な経験をしながら、小学校以降の生活や学習の基盤となる資質・能力を育てていくようにすることが重要。
- ・**幼児理解に基づいた評価**幼児教育施設における評価は、幼児の姿の変容を捉え、教育を改善するための手掛かりを求めることである。幼児の発達の状況と評価の考え方を保護者と共有し、幼児教育施設と過程が一体となって幼児の成長を支える取り組みを進めていくことが大切。
- ・**特別な配慮を必要とする幼児への指導について**幼児の障害や文化的・言語的背景などの特性を踏まえた教育を行うことが必要であり、国・地方自治体において、特別な配慮を必要とする幼児への継続的な支援を可能にする体制づくりが重要。
- ・**幼児教育と小学校教育の円滑な接続について**いじめ、不登校対策の観点からも、幼保小の接続期の教育の充実に取り組むことが重要。 等

3 必要な条件整備

- ・幼児教育施設への支援体制について、地方自治体において、教育委員会が中心となり、「幼保小の架け橋プログラム」促進のための体制を構築。国において、幼児教育センターや幼児教育アドバイザー等を法令等に位置づけ、広域連携を促進。 等

この検討内容が、次の幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂に反映されていきます。是非、ご一読ください。



今年のテーマは、幼小接続だよ! 申し込みは 11/1~

★お知らせ★

伊丹市幼児教育シンポジウム 2024 開催



と き:令和 6 年12月 1 日(日) 13:00~16:00 ところ:東りいたみホール 大ホール

テーマ 小学校以降の学びを見通し、
架け橋期※の幼児教育を振り返る

基調講演 鳴門教育大学大学院 教授 佐々木 晃 氏

実践発表 「5 歳児における架け橋期の学びについて」

伊丹市私立保育園・公立保育所・公立幼稚園による実践発表

実践講評 大阪総合保育大学 教授 瀧川 光治 氏

※架け橋期…5 歳児から小学校
1 年生の 2 年間。生涯にわたる
学びや生活の基盤を作るための
重要な時期

★おススメ保育専門書 (貸し出しできます!!)

見直そう! 保育現場の「なぞルール」

石井 章仁 著 中央法規出版

「あたりまえ」から抜け出せば、子どもは
もっとのびのび育つ。一見何の問題もな
さそうな、保育現場の「あたりまえ」。ハッ
と気づかされ自分を振り返る事例がたく
さん紹介されています。



「つながる保育スタートBOOK」

青木 一永 編著 東洋館出版社

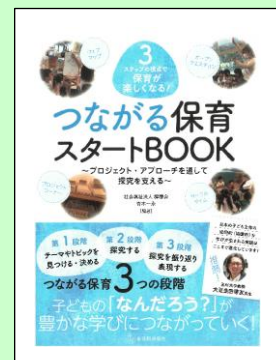
第1段階

テーマやトピックを見つける・決める

第2段階 探求する

第3段階 探求を振り返り表現する

子どもの「なんだろう?」が豊かな学びにつ
ながっていく つながる保育の3つの段階に
ついて具体的な実践が紹介されています。



★アドバイザー通信

「みんなちがってみんないい! そこに学びのチャンスあり」

今年度から幼児教育アドバイザーとして市内就学前施設を数多く訪
問させていただき先生方のお話を聞く中で、どちらの就学前施設に何
っても必ず独自の良さがある!と感じている日々です。

また、センター主催の研修会後アンケートからご意見を頂く中で、同
じ研修を受けていても、受けられた方によって様々な角度からの学び
があるのだと感じています。各就学前施設の良さ、各先生方の良さが
あり、自分とは違っているからこそ、そこに学びを得るチャンスがある
のだとつくづく感じています。

そして… 市内全ての先生方に共通しているのは、「こどもたちの
笑顔のために!」愛情いっぱい保育をされていること!今年度後半
も先生方と共に自身も学びのチャンスを見つけていきたいと思いま
す。
(幼児教育アドバイザー 坂本)